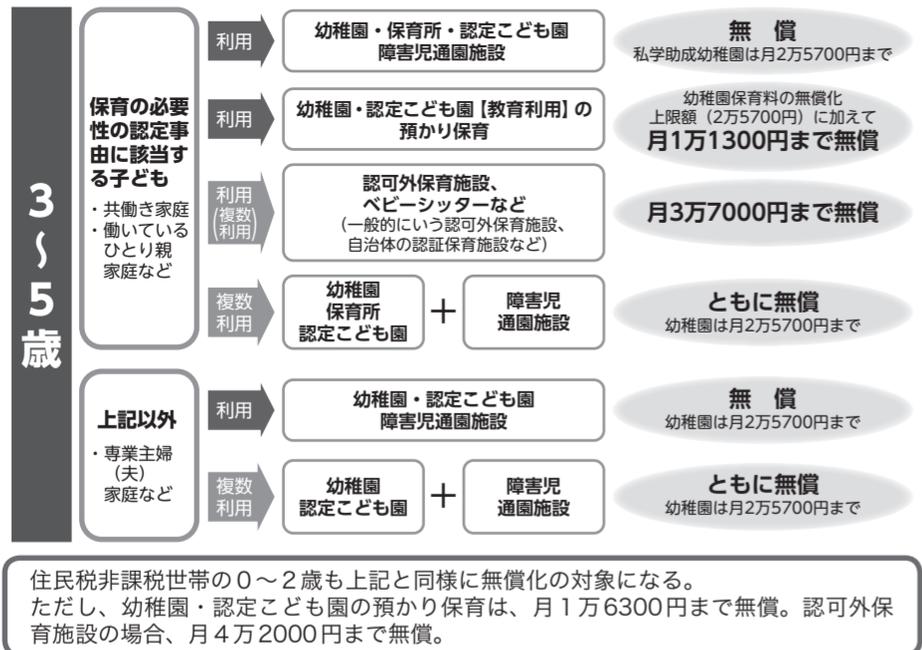


図1 幼児教育・保育の無償化の主な例



注1: 幼稚園・認定こども園【教育利用】の預かり保育や認可外保育施設を利用している場合、無償化の対象となるためには、市から「保育の必要性の認定」を受けることが必要。
注2: 地域型保育事業も無償化の対象。また、企業主導型保育事業(標準的な利用料)も対象。
注3: 年収360万円未満相当世帯の子どもと第3子(幼稚園・認定こども園【教育利用】は小学校3年生から数える。認可保育所・認定こども園【保育利用】は就学前児童から数える)以降の子どもは、副食の費用が免除されます。



幼稚園などの 利用料無償化

無償化の対象を紹介

10月から、国が主導で進める少子化対策の一つとして、幼児教育・保育に関わる利用料の無償化が始まります。

問い合わせ 子育て課(市庁舎3階、☎65・4159)

利用料無償化の対象となるのは次の通りです。(図1)

- ▽3～5歳の利用料
- ▽住民税非課税世帯の0～2歳の利用料
- ・私学助成幼稚園は、月額2万5700円まで無償となります。
- ・満3歳になった後の4月1日から小学校就学前までの3年間です。
- ・なお、幼稚園、認定こども園の教育利用の子どもは、入園時期に合わせて、満3歳から対象です。
- 副食費について
- ・副食(おかず、おやつ)の費用は、引き続き保護者の負担となります(0～2歳は除く)。



帯広市 幼児教育・保育の無償化 [検索](#)

図2 保育の必要性の認定要件

- ▷就労(月64時間の労働)
- ▷妊娠・出産
- ▷疾病・障害
- ▷介護・看護
- ▷災害復旧活動
- ▷求職活動 など

「認定申請書」と保育の必要性の認定要件(図2)を確認できる書類(両親分)の提出が必要です。

▽3～5歳の子どもの利用料

- ・幼稚園、保育所、認定こども園と併用する場合も無償化の対象となります。
- ※「認定申請書」と保育の必要性の認定要件(図2)を確認できる書類(両親分)の提出が必要です。

○必要書類の提出先

- ・認可外保育施設のみ当該施設に、それ以外はこども課に提出してください。

障害児通園施設

- ・公立保育所の副食費は月額4500円です。
- 幼稚園・認定こども園【教育利用】の預かり保育
- ▽3～5歳は、月額1万1300円までの利用料(保育の必要性の認定が必要)※
- ▽住民税非課税世帯の満3歳は、月額1万6300円までの利用料
- 認可外保育施設など
- ▽3～5歳は、月額3万7000円までの利用料(保育の必要性の認定が必要)※
- ▽住民税非課税世帯の0～2歳は、月額4万2000円までの利用料
- ・認可外保育施設、認可保育所の一時保育事業、病児保育事業、ファミリーサポートセンター事業などを利用した場合、無償化の対象となります。

唯一の市立商業高校として、昭和34年4月に開校した「北海道帯広南商業高等学校」は、「南商」の愛称で地域に親しまれていますが、皆さんは、南商にどのようなイメージを抱いているでしょうか。「女子生徒が多い」、「大多数の生徒が就職」といった印象を持たれている人も多いかと思えます。昭和50年頃、20人に一人だった男子生徒が現在では5人に一人に、2割程度だった進学率は、半数近くにまでなっています。

また、商業教育を取り巻く環境も大きく変化してきています。かつては「読み、書き、そろばん」の学問が商人を育ててきました。子どもの習い事としても人気で、私も小学生の時、珠算塾に通っていましたが、振り返ってみると、社会人になった時には、すでに電卓があり、数年後にはパソコンに入力すると自動計算する時代にな

市長コラム

夢かなうまち
おびひろ

なっちゃんコース

帯広市長 米沢 則寿



「なっちゃんコース」が自然に生まれるのではないかと感じます。

今年、南商は開校60周年を迎え、11月に記念式典を開催します。人間に例えると還暦を迎える南商。十干と十二支からなる60の干支の組合せが一巡する還暦には、第二の人生や生まれ変わるという意味が込められているそうです。

節目の年、卒業生や先生、みんなまでこれからの南商に思いを馳せてみたくありませんか。

りました。

これからはAI(人工知能)が膨大なデータや計算を一瞬で解析し、人間の代わりに機械が考え最適な答えを出すような時代になる一方で、新しいことを考え、創り出す仕事は無くなると言われています。

「君の絵を動かす力は、この大地に吹く風のように君が生きていること、そのものの力なんだ。」朝ドラのなっちゃんが十勝に里帰りした際、夫からかけられた言葉です。何でも理論的に解決しようとする彼には理解できない、あきらめずに挑戦する姿勢や新しいものを生み出す力を、開拓者精神が息づく十勝・帯広で愛されて育つたなっちゃんが持っていると感じたからだと思います。

これまで地域に根差した特色ある学校づくりに取り組み、地元から愛され、信頼されてきた南商にも、なっちゃんのような力が備わっているのではないのでしょうか。求められる知識や技術、価値観が大きく変わる世の中になっても、これからは南商だからこそできることを考え続け、勇気を持って新しいことに挑戦していけば、この学校に、どんな時代でも切り拓いていける「なっちゃんコース」が自然に生まれるのではないかと感じます。